

仲間とともに課題を見付け、共有し、解決する力の育成を目指して

「ふわっとジャンプ～走り高跳び～」 6年 陸上運動領域

『わたしたちの体育』P. 54～57

鳥取県米子市立五千石小学校 教諭 石田 康介

1 はじめに

走り高跳びは、試技の回数やバーの高さの決め方などルールを決めて競争したり、自己の記録の伸びや目標とする記録の達成を目指したりしながら、リズムカルな助走から力強く踏み切って跳ぶことができるようにする運動である。

本実践のテーマとして「仲間とともに課題を見付け、共有し、解決する」ためには、まず児童にとって分かりやすい目標設定が必要となる。そのために、単元最後には記録会を行い、個々の目標を超えた記録を合計し、女子の日本記録に挑戦するという目標を決め、意欲的に学習に取り組むことができるようにする。目標設定はわたしたちの体育にある設定の方法を参考に行なった。

走り高跳びは、様々な運動局面がつながりあった一連の運動であるため、何が課題なのか、どんな練習をすればよいのかを考えることに困難さを感じる児童が多い。自己やチームの能力を正確に把握し、課題を見付けることで、主体的・対話的に課題を解決していこうとすることができると考える。

そこで、わたしたちの体育（P. 55）を活用し、それぞれの局面でのポイントや課題解決に向けたアドバイスの視点を明確にすることで、主体的に取り組む児童の育成を目指した。

2 実践内容

（1）単元名「ふわっとジャンプ～走り高跳び～」『わたしたちの体育』6年P. 54～57

（2）単元目標

- リズムカルな助走から力強く踏み切って高く跳ぶことができる。 【知識及び技能】
- 自己の能力に適した課題を見付け、課題の解決に向けた練習の場や手だてを選択できる。 【思考力、判断力、表現力等】
- 課題解決に向けた仲間の考えや取組を認め、用具の準備や片付けなど分担して行い、助け合って運動しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】

（3）単元計画（全6時間）

時	1	2	3～5	6
学 習 活 動	○学習の行い方を知ろう。 ・学習の流れとまじりを知る。 ・にこにこタイムのやり方を知る。	○にこにこタイム（やってみよう） ○自分の課題を見付けよう。（活動①） ・ペアで跳び方を見合い、課題を見付ける。	○自分たちの課題を解決しよう。（活動①） ・跳ぶときのポイントをグループで見付ける。 ・ペアでポイントを意識して課題を解決する。	○自分の力を計測しよう。（活動②） ・記録を測定する。 ・学習のまとめをする。

(4) 授業の実際

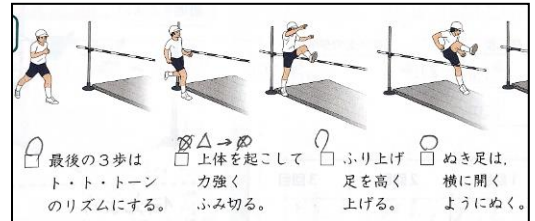
①動きの習得のための活用（やってみよう）

わたしたちの体育の「やってみよう」には動きの習得につながる運動がたくさん例示されている。本校では、これらの運動を「にこにこタイム」と称して、毎時間の始めに行っている。スモールステップをふみながら、体も心も少しずつ走り高跳びに向かうことができるため、安心して活動に入ることができる。また、運動に必要な動きを細分化して例示してあるので、どんなことにつまずきがあるのか見取することもできる。にこにこタイムはグループで活動し、友達同士のつながりを意図的にもたせるようにした。

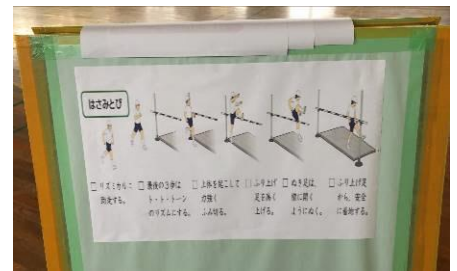
②課題を見付ける活動での活用

2時間目には、わたしたちの体育を活用し、自分の跳び方を分析した。わたしたちの体育のチェック表を使い、ペアで見合うことにより、見る視点を明確にした活動を行うことができ、とても有効だった。また、わたしたちの体育のイラストを拡大して掲示し、クラスの友達はどうなことを課題としている人が多いのか共有を図った。自分と同じ課題をもっている友達がたくさんいることを知ることで、意欲的に課題解決に向かうことができた。

また、3時間目以降の活動①（本校ではマスタータイムと呼ぶ。）において、自己の課題を改善できた場合、チェック表をその都度書き直させ、自分の動きの高まりを感じることができるようにした。



自己の課題を見付けるチェック表〔P.55〕



③課題を解決する活動での活用

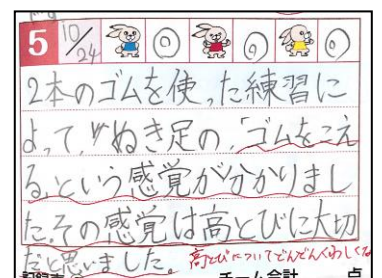
3時間目以降は、前時で見付けた課題を解決するために、リズムや力強い踏み切りに視点を向け、気を付けるポイントをグループで出し合い、いろいろ試していく活動を行った。その中で「トン、トン、トトトーン」のリズムで跳ぶことが気持ちよく、スムーズに跳ぶことができることや、力強い踏み切りを行うにはタイミングよく、ぐっと地面をけるとよいなど、様々な案からよりよいポイントを見付けた。グループで見付けたポイントも拡大図に書き込み、運動が苦手な児童にもアドバイスの言葉を明確にし、進んで声かけを行うことができるようにした。



改題解決に向けた
ポイントの共有〔P.55〕

3 終わりに

今回、わたしたちの体育を活用することによって子供たちの活動に明確な視点を与えることができた。その為、ほとんどの児童が課題を見付けた。『伝え合う』やふり返りの欄が充実されたことにより、一人一人の思考を読み取ることができ、評価にもつなげることができた。今後もわたしたちの体育を有効活用し、仲間とともに課題を見付け、共有し、解決する力の育成を目指していきたい。



ふり返り〔P.57〕